



## 新しい生活がスタートしました

伊保石地区災害公営住宅（31戸）が完成し、2月1日から入居が始まりました。塩竈市では最初の災害公営住宅の入居となり、県内でも戸建住宅への入居は初めてです

（2月1日 伊保石地区災害公営住宅）



## 企業立地協定式が行われました

被災地に企業立地を促進するため、多くの支援制度が創設されました。今回、その制度を活用して塩竈に食品会社の工場が立地することになり、「企業立地協定式」が行われました。塩竈などの食材を利用した食品を製造していく予定です

（2月4日 宮城県庁）



## 高齢者を見守ります

塩竈市と郵便局が、「高齢者等の見守り活動に関する協定」を結びました。郵便物の配達中、高齢者世帯などで何か異変を発見したときには、市に連絡をもらうこととなります。締結式には、老人クラブの方々も出席。地域で安心して暮らせるよう、多くの目で見守っていきます

（2月12日 市役所）

## 100歳おめでとうございます



高橋 つきのさん  
（大正3年2月10日生まれ）



菅原 稔さん  
（大正3年2月17日生まれ）

## 市の復興に応援いただいています

うえき ひろし  
植木 浩司さん（土木課）

派遣元自治体：長野県須坂市

業務内容：土木工事の設計・監督業務

メッセージ：少しでも、市民の皆さん、職場の皆さんのお手伝いができるよう、頑張らせていただきます

### 【須坂市よりひな人形が提供されました】

塩竈市と須坂市は「災害時における相互応援に関する協定」を平成24年10月に結び、応援職員の派遣など協力をいただいています。

須坂市は30段飾り千体のひな祭りでも有名で、応援職員の協力により、恒例の「塩竈deひなめぐり」（主催：ぱそとも倶楽部）のイベントに合わせ、須坂市のひな人形が提供されました。吉番館やしおがま・まの駅に展示します。

▶ 須坂市からやってきた派遣職員の植木さんとひな人形





# パチリ！ タウンアイズ

## 大切な文化財を守るため

昭和24年1月26日、奈良県法隆寺金堂が火災にあったのをきっかけに、「文化財防火デー」が制定されました。以来、文化財を火災などの災害から守るため、消防訓練が開催されています。鹽竈神社でも、初期消火や宝物搬出などの訓練が行われました (1月24日 鹽竈神社)



## 今年の福を願って

厄を払って福を呼ぶ、鹽竈神社の豆まき。大勢の人が訪れ、年男女がそろいのはかま姿で豆をまきました (2月3・4日 鹽竈神社)



## かわいい孫へ読み聞かせ

おじいちゃん・おばあちゃんを対象にした絵本の読み聞かせ講座。絵本の選び方や読み聞かせのコツなど、講師の宇野君代さんのお話しを、皆さん熱心に聴いていました (2月1日 市民図書館)



## 浦戸の安全を守る消防団

浦戸消防団の出初式。まだ被災の跡が残る野々島の海岸で、観閲式が行われました。島の安全を守る浦戸消防団は、防災に向けての誓いを新たにしました (2月2日 野々島)



## 塩竈夢ミュージカル十周年

今回の演目は「ヒトリという名の鳥は、淋しいと鳴く」。幻想的な舞台に、会場は引き込まれていました (2月15日 遊ホール)